



両親に見守られながら、3姉妹は健やかに成長しています

みんなのた場



櫻田

河南地区・鹿又

青空さん (14歳 河南東中学校3年)
 琉椰さん (8歳 鹿又小学校3年)
 哩望ちゃん (4歳 心ばり幼稚園年中)

のびのび育つ3姉妹

鹿又に在住し、地域で農業を営む櫻田量一さん、紀子さん夫妻の間には、3人の子どもがいます。明るくのびのびと育つ3姉妹は、自然豊かな環境でにぎやかに生活しています。

長女の青空さんは中学3年生。2人の妹たちの面倒見が良く、葉物野菜の袋詰めなど農業の手伝いなども積極的に行ってくれます。バレーボールのクラブチームに所属し、中学校では卓球部と、二足のわらじを履きこなす多才さも持ち合わせますが、コロナ禍でなかなか練習

習ができない日々が続いているといいます。

次女の琉椰さんは小学3年生で、マイペースな性格だそうです。最近では少女マンガを読むのにハマっていて、絵を描くのも大好き。青空さんの影響を受けて、バレーボールも始めています。家ではお風呂掃除などのお手伝いにも積極的です。三女の哩望ちゃんは、とても天真爛漫で自由奔放。櫻田家のムードメーカーとして、いつも中心にいる存在となっています。通っている幼稚園ではお人形やプロックなどでみんなと楽しく遊んでいるといいます。

3人とも仲が良く、哩望ちゃんの自由さにお姉ちゃん2人が振り回されることもしばしばあります。最近ではコロナ禍で外に出かけられない日々が続いていますが、休みの日は早々に宿題を済ませ、家でゲームなどし、ゆつくりと過ごすことが多いといいます。量一さんと紀子さんは「同級生と遊ぶ」といっても、家が遠くでなかなか足を運べない。コロナ禍もあって自宅で遊ぶことが増えた」と話します。

庭には、量一さんが手作りしたブランコなどの遊具もあり、温かい気候となれば手作りの窯でピザを焼き、みんなで楽しむこともあるそうです。川沿いなので、家族で土手を散歩したりするなど、地域の自然を楽しむながらゆったりとした時間の中で日常を過ごしています。

Life Across the Pacific

～ 太平洋を越えて ～ IX

米国カリフォルニア州出身で、日系アメリカ人のリュウガ国際交流員のコラムです。『Life Across the Pacific』とは太平洋の向こうの生活ということです。石巻はカリフォルニアと同じく太平洋に面しています。太平洋の両側で生活してきた経験を生かして石巻とカリフォルニアのそれぞれの魅力を語ります。



国際交流員のリュウガさん

Hello everyone! This will be my final column for the city newspaper. I greatly appreciate being given the opportunity to share my experiences with the cultural differences between Japan and the US.

It has been an eye-opening experience for me to reconnect with Japan, as a Japanese-American who spent most of my life in the US. One small thing is simply how people pronounce my first name correctly here. In America, people pronounced my name in many unique ways. Most will drop the 'r' and say you-ga. Some pronounce it as rai-oo-ga or rooga. Others gave up completely and used silly nicknames like Yu-gi-oh and Ooga Chaka Ooga.

An important part of my job as coordinator for international relations is preparing the city to be able to attract tourists from abroad. While the pandemic has tourism in a tight spot, I really hope that we are able to welcome the world with open arms once it is safe to do so. Personally, I can't wait to share with my American friends and family all the wonderful places and things I've discovered in Ishinomaki. From izakaya with delicious food and warm atmospheres to the awe-inspiring views of the rias coastlines, I'm confident there will be lots for them to enjoy. And then I would also like to show all of the friends I've made here in Ishinomaki my home state of California.

This is my last column, but I will still be in Ishinomaki, so feel free to drop by city hall if you need any help with translations or sightseeing recommendations!

ハロー!国際交流員のコラムは今回で最後となります。市報に日本とアメリカの文化の違いについて紹介する機会を頂いたことを感謝しています。

アメリカで生まれ育った日系アメリカ人ですが、日本で暮らすのはとても勉強になり、良い経験になっています。日常の面白いエピソードの一つは名前の発音です。アメリカ人は「リュウガ」の発音がなかなかできません。「ユーガ」と呼ぶ人が多く、他は「ライウガ」や「ルーガ」。また他は諦めて「遊戯王」の「遊戯」や「ウガ・チャカ・ウガ」というようなあだ名で呼んでいました。

観光課国際交流員の大事な役目の一つは海外の観光客誘客でしたが、新型コロナの影響で観光客が来られなくなってしまいました。観光は復活するまで時間が掛かると思いますが、コロナが終息したら皆さんと一緒に多くの人を暖かく迎えられるよう祈っています。個人的にアメリカの友達や家族に石巻の気に入った場所を紹介するのを楽しみにしています。美味しい居酒屋の料理や海岸の景色、一日では足りない程沢山見せたいところを見つけました。そして石巻で出来た友達にいつか出身のカリフォルニアも見せたいと思います。

国際交流員コラムは最後となりますが、まだしばらく石巻にいますので今後もよろしくお願います!

石巻市立桜坂高等学校

桜坂だより

第27号



こんにちは、桜坂高等学校です。今回は、桜坂高校第7回卒業式と同窓会入会式をご紹介します。



2月28日

卒業式の前日には、同窓会入会式がありました。同窓会の会長さんから、歓迎の挨拶を頂きました。

3月1日

石巻市立桜坂高等学校第7回卒業証書授与式が挙行されました。クラスの代表が卒業証書を受け取りました。



▲最後のLHR
各クラスで担任から卒業証書を受け取りました。



令和3年度の卒業生の進学・就職確定率も100%でした。進路決定100%は、4年連続の快挙です!!

▲最後のクラス写真は、満面の笑顔で!



桃生 笑顔でお別れまた来年度に

桃生町「長生大学」



桃生町長生大学の「お別れ会」が2月16日に桃生公民館で行われました。本年度はコロナの影響で休講が続いたため、例年の卒業式を見送り、お別れ会としました。卒業証書授与や皆勤賞などの表彰もありませんでした。須藤館長は、「来年度も開講しますので、皆さんコロナに負けずに頑張りましょう」と受講の継続を呼びかけました。

石巻 まきあーと舞台に成果発表

第26回石巻芸術文化祭

第26回石巻芸術文化祭が3月5、6日にマルホンまきあーとテラスで開かれました。書や絵画などの展示に10団体が参加し、華やかなムードを演出しました。舞台では箏曲、日本舞踊、劇、オーケストラ、合唱などがあり、日頃の成果に盛んな拍手が送られていました。待望の文化施設の完成で、今後の文化祭の発展が望まれています。



河北 警鐘鳴らして地域巡回

河北地区で防火車両パレード

2月27日、全国春の火災予防運動(3月1日～7日)を前に、河北地区において「車両パレード」を実施しました。河北総合支所で出発式を行い、消防団と消防署が協力し、消防車両の警鐘を鳴らしながら地域に火災予防を呼びかけました。例年は子どもたちが商店街を歩く防火パレードも同時開催していましたが、コロナ禍で今年も中止となりました。



雄勝 3年ぶりの舞いを披露

雄勝法印神楽・舞台上演

雄勝町の雄勝硯伝統産業会館で3月5日、雄勝法印神楽の舞台上演が行われました。オンライン配信されたイベント「宮城に息づく民族芸能一浜の暮らしと祈り編一」の一環として開かれ、同会館の外には神楽の舞台が設置されました。この日奉納されたのは「日本武尊」。保存会のメンバーが30分に渡り、地域で約3年ぶりとなる神楽を披露しました。



河南 5年生に思い引き継ぐ

広瀬小鹿嶋ばやし伝承式

広瀬小学校の児童が代々取り組んでいる伝統芸能「河南鹿嶋ばやし」の伝承式が2月10日、同校体育館で開かれました。6年生にとってはこれが最後の演奏機会となり、雄姿を一目見ようと集まった保存会メンバーや保護者の皆さんを前に、圧巻の演奏を披露しました。6年生は伝統を引き継いでいく5年生に太鼓やたすきを手渡し、後世に永く残していく思いを共有。5年生も元気な演奏でこれに応えていました。



北上 楽しく華やかにお祝い

相川保育所でひな祭り

桃の節句となった3月3日、市内の保育所や幼稚園ではひな祭りにちなんだ行事が催されました。北上町の相川保育所でも、地域の方から譲り受けた7段飾りがお目見えし、ホールではひな祭り会が開かれました。10人の子どもたちはクイズやゲームなどを楽しみ、ひな祭りの由来なども学びました。



牡鹿 昔の鮎川に思いはせ

牡鹿半島ぶらり歴史散策

牡鹿半島ぶらり歴史散策が3月6日、鮎川浜で初めて開かれました。案内を務めたのは長年、風景や人々を撮り続ける鹿井清介さん。ビジターセンターを発着点に市内外から親子、夫婦ら7人が参加しました。昭和30年ごろの鮎川浜の写真を示しながら現地を歩き、古き良き時代に思いを寄せていました。

